

令和6年度

大仙市立大曲南中学校

研究発表会 (ESD 自主公開)

資料集



1年生:旧本郷家訪問(11/29)



2年生:再生可能エネルギーに関する
フィールドワーク(7/18)



3年生:お菓子工場訪問(11/13)

Omagari-Minami J.H.S.

AKITA SDGs

自律 貢献 創造

夢大きく 協働的に探究し
持続可能な社会の作り手となる

unesco
Member of
the Associated Schools
Network

中

令和6年11月22日(金)

研究主題

自ら「問い」を發し、多様な他者と協働した「探究」を通じて、主体的に学び続けようとする生徒の育成
～探究型授業の基本プロセス（見通しをもつ・自分の考えをもつ・集団で話し合う・振り返る）の
質を高めた授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の実現～

ESD 研究主題

「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ「ESD for SDGs」

日程

受付	公開授業		生徒発表		全体会
12:45	13:00		14:15		14:45
～	～		～		～
13:00	14:00		14:35		16:10

公開授業

学級	指導者	単元名	教室
1年A組	一級建築士 松塚 智宏 氏	未来のエコハウスを設計しよう	被服室 (A棟1階)
2年A組 B組	未来のためのESD デザイン研究所 高橋 敬子 氏	気候変動ミステリー授業	集会室 (B棟4階)
3年A組 B組 C組 D組	キャリア教育 コーディネーター 奥 真由美 氏	SDGs商品開発 Challenge in ショーバイ! リハーサル編	INR・学習室 (B棟4階)

全体会

- | | | |
|-------------|----------------|----------|
| (1) 主催者あいさつ | 大仙市立大曲南中学校長 | 島田 智 |
| (2) 研究の概要説明 | 大仙市立大曲南中学校研究主任 | 佐藤 麻希 |
| (3) 指導助言・講演 | ESD・SDGs推進研究室長 | 手島 利夫 先生 |

演題「SDGs時代の学びを創る」

1年授業

「未来のエコハウスを設計しよう」

■1年生授業テーマ「50年後のエコハウスを設計してみよう」

日時:2024(R6)年11月22日(金) 約120分間 11:00-12:00、13:00-14:00

場所:大曲南中学校

対象:大曲南中学校1年生 約23名

<p>【目安】</p> <p>1100</p> <p>1108</p> <p>1110</p> <p>1115</p> <p>1125</p> <p>1135-</p> <p>1200</p>	<p>1. 自己紹介(あの人はダレ?)</p> <p>・建築士の仕事概要/デザインだけでなく、建物・まちの「エコ」を考えている。 (それぞれ問題提起する)</p> <p style="text-align: center;">↓ why?</p> <p>・地球の未来のため ① 温暖化・異常気象 ② 資源枯渇 → 「エコ」の必要性確認</p> <p>2. ワークショップ</p> <p>A. アイスブレイク 「エコ」の判断訓練 ⇒※人にとって便利でも、地球にはどうか?を考える。 →定義の確認: エコの定義:自然環境や他の人間・生き物へ負担が少ない。優しい状態。 エコじゃない状態は? ① エネルギーや資源をムダにしている。多く使っている。 ② 自然環境・他人に過度な負担をかけている。</p> <p>B.「自分の家のなか・家のまわり・まちの中でエコじゃないなあと思うところ。」 ①(付箋・個人作業:2) → (グループ内:3、グループ発表:5)</p> <p>C.「エコじゃないと思ったところをエコにする方法を考えてみてください。」 ①解決するためのアイデア出し(個人作業):3→ ②グループ内発表/共有:5~7</p> <p>D.「未来のエコハウスをイメージ・空想する。」 ①課題→解決するためのアイデア → ②イメージ図示化(ホワイトボード・グループ作業) (どうすればエコになる?) ③タイトルをつける。 ※大仙市の地域特性・地形等を活かすのもOK だが、条件はこだわらない(海などが出てきてもOK) ※今の秋田県大仙市ではなく、2070年、空想の世界としてOK。</p>
<p>(休憩)</p>	
<p>1300-</p> <p>1320-</p> <p>1345-</p> <p>1358 終</p>	<p>ブラッシュアップ</p> <p>※記録、発表者を決める。 ※ボードにタイトル・グループ名・メンバー名を書いた紙を貼る。</p> <p>3. 発表</p> <p>・5グループが発表。全員前が出る。5分(発表3+FB2)×5班=約25分 ・ホワイトボードをプロジェクターで写し、代表が基本説明する。 ※①タイトル、②どんなアイデアを持つエコハウスか、③課題はなんだったのかを発表</p> <p>4. まとめ</p> <p>・先進事例の紹介 → 省エネ・創エネなど/循環の大切さ(例:地域の木材と遠方の木材) ・どんな人になって欲しいか/メッセージ</p>

本授業の学習テーマ・目標:

- ① 住環境における エコとエゴ(資源やエネルギーのムダ)を観察する。
- ② 省エネルギーと創エネルギーの可能性を考える・知る。
- ③ エコな心をもつ人になるために自分にできる事を考える。

令和6年度 大曲南中学校 ESDカレンダー (1年生)

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	学びを開く 情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう	A 新しい視点で アイコンは大きな 根? 話の構成を工夫しよ う	言葉に立ち止まる 比喩で広がる言葉 の世界	心の動き 聞き上手になろう 項目を立てて書こう	筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュ ウカラ 根拠を示して説明しよう	価値を見いだす 「不便」の価値を見つ め直す 助言を自分の文章に生 かそう	自分を見つめる 構成や描写を工夫して書こう					
社会	世界と日本の姿	C 世界のさまざまな地域	C 世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州									
数学	算数から数学へ 正負の数	文字と式	方程式		比例と反比例	平面図形	空間図形	データの分析と 活用				
理科	A いろいろな生物とその共通点 生物の観察と分類の仕方 植物の分類 動物の分類	B 身のまわりの物質 身のまわりの物質とその性質 気体の性質 水溶液の性質	身のまわりの現象 光の世界 音の世界 力の世界	大地の変化 動き続ける大地 火をふく大地 地層から読み取る大地の変化								
外国語	自己紹介や身の回りの 物の紹介	A 世界の 食文化	部活動の 紹介をし よう	C 他国の文化と日本の文化の 比較①②	友達や 家族を 紹介し よう	C 他国の文化と 日本の文化の 比較③④	C Think globally Act Locally	C 他国の文化 と日本の文 化の比較⑤	今年の思い 出を紹介し よう			
音楽	新しい仲間とのびのび歌 おう		思いが伝わる合唱を創り上げよう		このイメ ージなぜわ いてくるの?		C 日本 の伝統音 楽に親しみ そのよさを 味わ おう					
美術	私の色	モダンテクニック 私の好きな言葉	マークのデザイン	生活を楽しむ ～オリジナルパッケージ～	心を贈る							
保健体育	C スポーツの 始まりと発 展	バレーボール	C スポーツへの 多様な関わり 方	現代的なり ズムのダン ス	C 剣道	A 健康な生活と病気の予防①						
技術	材料と加工に関する技術											
家庭	私たちの成長と 家族・地域	A 私たちの食生活 中学生の食生活と栄養 資源や環境を考えた食生活	私たちの住生活 E C Oハウスをつくろう	AB 身近な消費生活と環境								
総合的な 学習の 時間	A 食と住 ～人と人のかかわり～ 「SDGsと食」(6～9月) ①有機野菜栽培 ②博士号教員出前授業 ③校外学習(Pilz, 秋田農産) ④エコッキング ⑤校外学習(秋田イオン・フードバンク秋田) 「未来のエコハウスを設計しよう」(10～11月) 「まとめ」(12～1月) ①日本郷家住宅見学 ②秋田大学 西川先生による断熱についての出前授業 ③エコハウス設計										10年後の自分の生き方 について考えよう 「職業調べ」 (2～3月)	
特別活動	中学校生活 をはじめよ う	中学校では 何を学ぶの か?	学級生活を見 つめよう I	学校の外へ とび出して活 動しよ う	学級生活を見 つめよう II	はたらくとは? 職業とは?	学級生活を見 つめよう III	自分を知る	将来の設計と 進路の計画 I			
道徳	・あなたが うまれた ひ おはよう	・古びた目覚 まし時計 ・不自然な独 り言 ・自分で決め る	・「どうせ無理」を なくしたい ・ルールとマナー ・「いじり」? 「いじめ」?	・ごめんね、お ばあちゃん ・まだ進化でき る～イチロー 選手の生き方 ～	・最強の敵 最大の友	・選ぶという こと ・裏庭のでき ごと ・一日前に戻 るとしたら	・富士山を守って いくために ・けやきを誇り に ・あなたならどう しますか	・C ショートバ ンク初体験inア メリカ ・A もったいな い ・いのちを考 える	・私に宇宙の プレゼント ・C 歴史を変 えた決断 ・幸せな仕 事って	・A 伝えた い味 ・二度と通 らない旅人	・B 全ての人に安 心 安全な水 ・チョコの行方 ・よく生きるこ と、よく死ぬこ と	・“庶民の笑 い”を絶や さない ・B オーロラ の向こうに

A : 食と住
B : エネルギーと気候変動
C : 国際交流とSDGs起業

身に付けたい能力・態度

批判的に考える力 コミュニケーションを行う力
多面的・総合的に考える力 進んで課題を見つける力
学んだことを発信する力 生活に活用する力

2年授業

「気候変動ミステリー授業」

気候変動のミステリーを用いた授業の流れ

◆ねらい

- ①気候変動問題の複雑性やさまざまな問題が相互に関連していることを理解する（システム思考）
- ②議論を通して批判的かつシステムの的に事象を捉えられるようになる（批判的思考、システム思考）
- ③能動的に話し合いに参加し、他者の意見を理解し、解決策を共に見つける（協働的コンピテンシー）
- ④秋田県や学校で行われている気候変動対策を見つけ、班で協力してミステリーカードとしてまとめる（協働的コンピテンシー）

◆授業の流れ

学習内容・テーマ（所要時間）	生徒の活動
ミステリーの結果発表と振り返り （5班×5分：25分）	各班で並べたミステリーカードを他のグループに見せながら、謎解きの結果を論理的に説明する。
カードの並べ方についての解説とグループワークの説明（約10分）	<ul style="list-style-type: none">・カードの並べ方の例についての簡単な解説・気候変動の対策についての話・グループワークについての説明
ミステリーのカードづくり（約15分）	<ul style="list-style-type: none">・秋田県で行われている気候変動の対策をテーマに、グループでミステリーカードを作る。
発表とまとめ（約10分）	<ul style="list-style-type: none">・作成したミステリーカードについて、班ごとに発表する。・まとめの話

◆ミステリー（Mystery）の教育的背景

ミステリーとは、イギリスの地理学による思考(Thinking through Geography) プロジェクトにおいて、デービッド・リート氏らにより構造主義学習理論に基づいて開発された学習手法です。

この手法は、学習者がさまざまな事象間の複雑な事実関係を把握し、その構造化ができるようになる（システム思考の開発）ことに効果があると言われていています（高橋・ホフマン 2019）。

また、能動的で、他者を説得する必要がある作業方法なので、コミュニケーション能力等の生徒の能力を強化することが期待できます。

令和6年度 大曲南中学校 ESDカレンダー (2年生)

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	広がる学びへ アイスプラネット 多様な方法で情報を 集めよう	多様な視点から クマゼミ増加 の原因を探る 魅力的な提案 をしよう	情報社会を 生きる メディアを 比べよう	言葉と向き合う 短歌に親しむ 言葉を比べよう	人間のきずな 盆土産 字のない葉書 聞き上手にな ろう	論理を捉え て 立場を尊重 して話し合 おう	いにしへの心 を訪ねる 平家物語	価値を語る 君は最後の晚餐を 知っているか 魅力を効果的に伝 えよう	表現を見つめる 走れメロス 構成や展開を工夫して書こう 国語の学びを振り返ろう				
社会	B 日本のさまざまな地域		B 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方						C 地域の在り方				
数学	式の計算	連立方程式	1次関数			平行と合同		三角形と四角形		確率	データの 比較		
理科	B 化学変化と原子・分子 物質のなり立ち 物質どうしの科学変化 化学変化と物質の質量		A 生物のからだのつくりとはたらき 動物のからだのつくりとはたらき 植物のからだのつくりとはたらき			B 天気とその変化 雲のでき方と前線 大気の動きと日本の天気		B 電気の世界 電流の性質 電流と磁界					
外国語	C シンガポールの観光地	AC 食べ物世界旅行	職業体験と将来の夢	C ホームステイでの国際交流体験		C ユニバーサルデザインのめざすもの	調査・発表の仕方を学ぼう	C 世界遺産の価値とは	C 自然の偉大さと命の大切さ				
音楽		曲の仕組みの秘密を探ろう	思いが伝わる合唱を創り上げよう			C オペラの魅力を味わおう	C 日本の伝統音楽に親しみそのよさを味わおう	C 世界の多様な発声を味わおう					
美術	私の色	夢のカタチ	生活を楽しむ ～オリジナル手ぬぐい～			ポスターで伝える		心を贈る					
保健体育		C スポーツが心身と社会性に及ぼす効果	バレーボール	A 生活習慣病とその予防	現代的なリズムのダンス	C 剣道	B 自然災害に備えて						
技術	情報に関する技術					A 生物育成に関する技術							
家庭	C 資源を大切にしたい衣生活 生活に役立つ小物づくり			BC 地球に優しい住生活		AC 調理と食文化		AB 環境に配慮した消費生活					
総合的な学習の時間	B エネルギーと気候変動 ～社会とのかかわり～ (6～11月) 「まとめ」(12～1月) ①緑のカーテンプロジェクト ②校外学習(洋上風力発電、メガソーラー発電所、バイオマスエネルギー) ③東北電力出前授業 ④気候変動のミステリー授業 ⑤エコシティをつくろう							上級学校調べ 適切な進路選択に向けて上級学校について知ろう					
特別活動	自分たちの学級を作ろう	将来の生き方と学習	『働く』ことについて考える	自分の力をボランティアに生かす	学ぶための制度と機会	適性を生かした進路を考えよう							
道徳	・まるごと好きです ・先輩	・留学で考えさせられたお金 ・まだ食べられるのに ・短所をぶきとせよ	・たったひとつのたからもの ・C 六千人の命のピザ ・C 国境なき医師団	・伝えるということ ・一枚のはがき ・清掃はやさしさ	・たすきとが'ポン	・怒りの救助活動 ・SNSとどうつき合う? ・夜の果物屋	・違反摘発 ・五万回斬られた男	・わたしのせいじゃない ・最優秀 ・譲る気持ちはあるのに	・狂言師・野村胡堂物語 ・B 剣路道原を守れ ・飛鳥へ、そしてまた見ゆへ	・御田にとどまらず、復興を語りかける目 ・本当の友達って	・C 海と～樺野の人々 ・三年生を送る会 ・C 風に立つライオン	・ハッチを開けて、知らない世界へ	

A: 食と住
B: エネルギーと気候変動
C: 国際交流とSDGs起業

身に付けたい能力・態度
 批判的に考える力 コミュニケーションを行う力
 多面的・総合的に考える力 進んで課題を見つける力
 学んだことを発信する力 生活に活用する力

3年授業

「Challenge in ショーバイ！
リハーサル編」

「AIU マルシェでショーバイ！リハーサル編」

令和6年11月22日（金） 13：00～14：00

13：00 授業開始 挨拶

これまでの活動の振り返り（活動の写真などで紹介）

本日の授業の説明

- ・今日の授業のテーマと目標の確認
- ・そのためにどうする？（方法の確認）
- ・役割分担の確認

お客様へのお願いと説明

（実際に商品を買って頂くこと）

（アンケートへのご協力お願い）

お菓子屋さんのご紹介（新栄堂小田島さん 大久保菓子店さん）

13：25 教室移動

・店長からお店と商品の紹介 （3店舗それぞれ）

・ポスター ポップなど店舗装飾の確認

（工夫した点・改善点など）

・お店開店 営業開始

（呼び込み・接客・販売）

商品説明 コミュニケーション お金の受け取り

袋づめ お釣りのお渡し 売れたもののチェック

飲食スペースへのご案内など

13：50 まとめ

・アンケートへのご記入

・お客さまからの感想やご意見を頂く

・生徒からの感想や意見発表 （よかった点、改善点）

・本番に向けて

感謝のことば

終わりの挨拶

令和6年度 大曲南中学校 ESDカレンダー (3年生)

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	深まる学びへ 握手 評価しながら聞く	視野を広げて 作られた「物語」 を超えて 説得力のある構成 を考えよう	情報社会を生きる 報道文を比較し て読もう	状況の中で 聞き上手になるよう 論理の展開を整える	自らの考えを 人工知能との未来 多角的に分析して書こう 合意形成に向けて話し合おう	価値を生み出す 情報を読み 取って文章を 書こう	C 本は世界への扉 エルサルバドルの少女へ スース 紛争地の看護師 説得力のある文章を書こう	C 未 来へ向 かって 温かい スープ				
社会	二度の 世界大戦と 日本	B 現代の日本と世 界	現代社会と 私たち	C 個人の尊重と 日本国憲法	B 現代の民主政治 と社会	私たちの暮らしと経済	C 地球社会と私 たち	C よりよい社会 を目指して				
数学	多項式	平方根	2次方程式	関数 $y=ax^2$	相似な図形	円	三平方の定理	標本調査				
理科	B 化学変化とイオン 水溶液とイオン 酸、アルカリとイオン 化学変化と電池		A 生命の連続性 生物の成長と生殖 遺伝の規則性と遺伝子		B 運動とエネルギー 物体の運動 エネルギーと仕事		地球と宇宙 地球の運動と天体の動き 宇宙の広がり	B 地球と私たちの未来のために 科学技術と人間 持続可能な社会を作るために				
外国語	C 世界の言語に ついて	スポーツ のもつ力	C 英語の俳 句	B 絶滅危惧種 の動物たち	C 防災に共に取り組 む	C 平和や人権の 大切さ	C 日本文化再発 見	C 国境を越えた助け 合いの大切さ	B 未来を動かそ う			
音楽	音楽と社会の関わり		思いが伝わる合唱を創り上げよう			C 日本の伝統 芸能に親し みそのよさ を味わおう	リズムアン サンプルを 作ろう	曲のよさを プレゼンし よう				
美術	私の色	イメージを形に		生活を楽しむ ～ペーパーウェイト～			自画像		心を贈る			
保健体育		C 国際的なスポー ツ大会とその 役割	バレーボー ル	C 人々を結び つけるス ポーツ	現代的なリ ズムのダン ス	C 剣道	A 健康を守る社会の取り組み					
技術	B エネルギー変換に関する技術											
家庭	家族・家庭と子どもの成長 幼児の生活と遊び						A B 身近な消費生活と 環境					
総合的な 学習の 時間	C 国際交流とSDGs起業 ～未来のために今、私たちができること～ 「国際交流」(7～8、12月) 「SDGsを踏まえた商品開発」(8～12月) ①秋田国際教養大学訪問 ①地域の素材を生かした商品開発・製造 ②キリバス共和国交流 ②A I Uマルシェでの販売						自己理解と進路実現 自分の適性を理解し、将来を見通した 進路目標を立てる					
特別活動	生徒会活動 と自分の役 割	将来の生き 方を考える	上級学校の 内容と特色	学校祭を成 功させよう	進路の調査 と選択	進路計画の 実現と努力	卒業までの 役割と責任					
道徳	・父のひと言 ・僕は友だち を裏切った のか?	・歩きスマホ をどうするか ・C 平和への 願い ・B 変わりゆく 地球	・卒業文集の 最後の二行 ・あなたは顔 で差別をし ますか ・かき縄	・A ハゲワ シと少女 ・無限の道	・鳩が飛び立 つ日	・A ニワトリ ・フットライト ・C 日本の伝 統 将棋	・B サルも人も 愛した写真家 ・ひび割れ窓 ・二通の手紙 ・裁判員制度を 考える	・校長先生の模 擬面接 ・カーテンの向 こうに ・ふきのとう ・いのちの花 プロジェクト	・家族の思いと 意思表示カード ・C あふれる愛 ・片足の7M'S +キ+三澤拓	・テーブル の卵焼き ・足袋の季節	・B 憧れの 消防団 ・懐い ・旅立ちの日 に	・もう一つ の時間

A : 食と住
B : エネルギーと気候変動
C : 国際交流とSDGs起業

身に付けたい能力・態度
 批判的に考える力 コミュニケーションを行う力
 多角的・総合的に考える力 進んで課題を見つける力
 学んだことを発信する力 生活に活用する力

第3学年ESDストーリーマップ「国際交流とSDGs起業」(2)

<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・

10月	11月	12月	1月	2月	3月
-----	-----	-----	----	----	----

【南中祭・発表】
5 6 15
南中祭での総合的な学習の時間の中間発表会を通して、地域の方々に、SDGsの視点から共に考えていきたいことについて発信する。

【SDGsワークショップI】
4 12
朝日SDGsジャーナルによる新聞記事を読み、友達と意見を交流する活動を通して、SDGsの視点から私たちの生活について考える。

【英語】 14 15
“Animals on the Red List”
世界の絶滅の恐れのある動物について知り、自分たちにできることを考えることができる。

【道徳】 11 12 13
「サルも人も愛した写真家」
自然との共存

課題追究2
「SDGsを踏まえた商品開発プロジェクト」
～SDGsの視点で地域と連携した商品を開発しよう～

課題設定3
気候変動の影響を最も受けるキリバスについて日本の私たちの課題は何だろうか？中学生の私たちに、何ができるのか？

課題追究3
「キリバス交流プロジェクト」
～キリバスの中学生との交流を通して、気候変動をグローバルに考えよう～

まとめ・振り返り・発信
新たな課題の出現

【まとめ・振り返り・発信】
5 6 7 8 9 10 15 16
◇「国際交流・SDGs企業」の視点から、持続可能な社会の実現に向けて何ができるか考えることを通して、これまでの学習を振り返る。
・SDGsを達成するために、私たちにはこんなことができそうだ。
・身近なことからすぐに実践していきたい。
・学んだことを地域の方々に積極的に発信していきたい。
◇これまで学習してきた内容や行動のよさを実感する。
・1年間の活動を通して、友達や地域内外の方々と共に学びを深め、実践できた。
・今後も地域や国、世界のためにできることを実践していきたい。

【英語】 11
“Be Prepared and Work Together”
防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持ち、標識が何を意味しているかを説明することができる。

【社会】 1 2 7 13
「さまざまな国際問題」
地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために、経済的、技術的な協力が大切であることを理解することができる。

【キリバスの中学生との交流プロジェクト withケンタロ・オノ氏】
3 4 12 13 14 15
◇キリバスの中学生とのオンライン交流を通して、相互に理解を深め、課題解決に向けて実際にどんな行動をすることができるのか意見交換を行い、グローバルに考えローカルに行動する意義を理解する。
・私たちのことをよく知ってもらい、仲良くなりたいな。キリバスの中学生はどんな生活をしているのだろう？困っていることは何か？
・キリバスと日本の私たち中学生は、課題を解決するために、未来に向けてどんな行動ができるだろうか？

【国語】 7 13
「温かいスープ」
国際社会における人と人との関係について、考えることができる。

【英語】 11
“A Legacy for Peace”
ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考えることができる。

【理科】 10 11 14 15
「生物の多様性と進化」
進化と生物の多様性にどのような関係があるか調べることができる。

【理科】 7 9 11 12
「エネルギーと仕事」
エネルギーの様々な形態を知り、エネルギー変換とエネルギーの総量の間を関係を考えることができる。

【英語】 14
“Beyond Borders”
国を越えて助け合う大切さを知り、自分に何ができるのかを考えることができる。

1～16：育成を目指す主な資質・能力



2024年11月22日

大仙市立大曲南中学校研究発表会（ESD自主公開）レジュメ

ESD, SDGs 推進研究室長
元江東区立八名川小学校長
手島利夫

演題 「SDGs時代の学びを創る」

1, 大仙市教育目標と大曲南中学校の研究主題

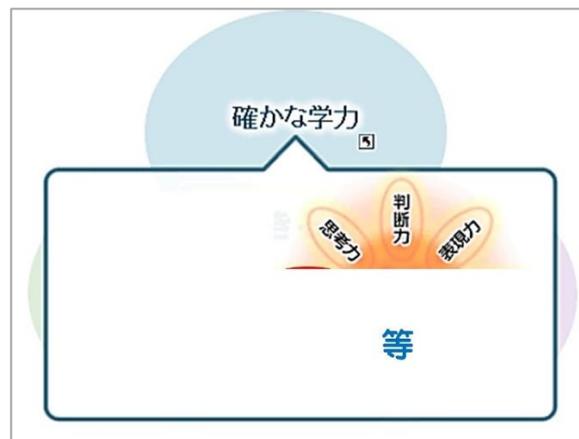
令和6年度（2024年度）
大仙市の学校教育
大仙市が目指す将来都市像
『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』
大仙教育目標
『生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり』

教育分野の基本方針（第2次大仙市総合計画より）
豊かな心と創造力を育むまちづくり
大仙市教育大綱（学校教育）

- 1 豊かな心と健康な体を育む学校づくり
○子どもの「心の居場所」が確保された環境づくり
- 2 主体的でグローバルな学びを進める学校づくり
○確かな学力による探究する子どもの育成
- 3 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくり
○地域に根ざしたキャリア教育の推進

大仙市教育委員会

・「確かな学力」の「等」って何でしょう



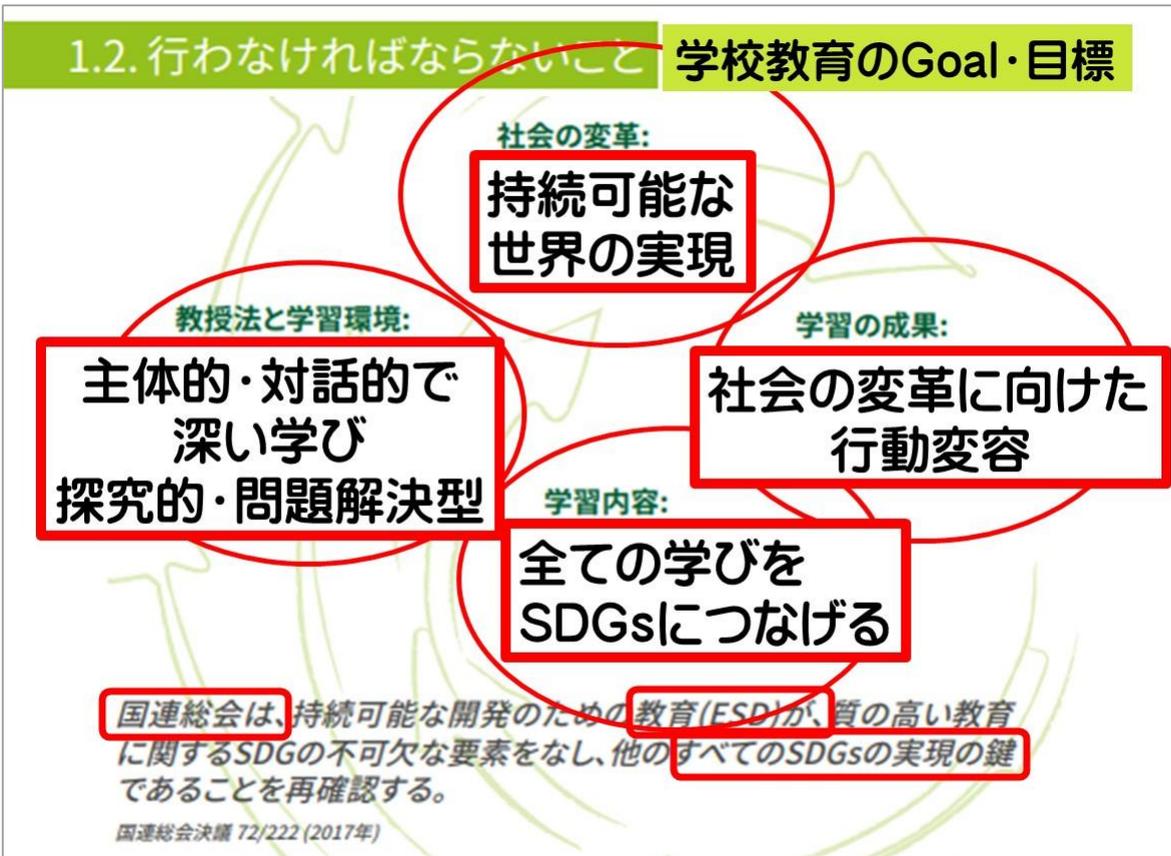
大仙市立大曲南中学校 研究主題

【自ら「問い」を發し、多様な他者と協働した「探究」を通じて、**主体的に**学び続けようとする生徒の育成】

～探究型の授業の基本プロセスの質を高めた授業改善による

「主体的・対話的で深い学び」の実現～

2, 世界の課題と日本の「学習指導要領」



総則

教育課程の編成において

総合的な学習の時間の目標と関連を図り

- ① **学校の教育目標を見直すこと** (時代遅れ?)
- ② **教科横断的に学ぶ** (19ページの2)
(カリキュラム・マネジメント)

教育課程の実施において

- ③ **主体的・対話的で深い学び**
に向けた**授業改善** (22ページ1の(1)・・・つまり)

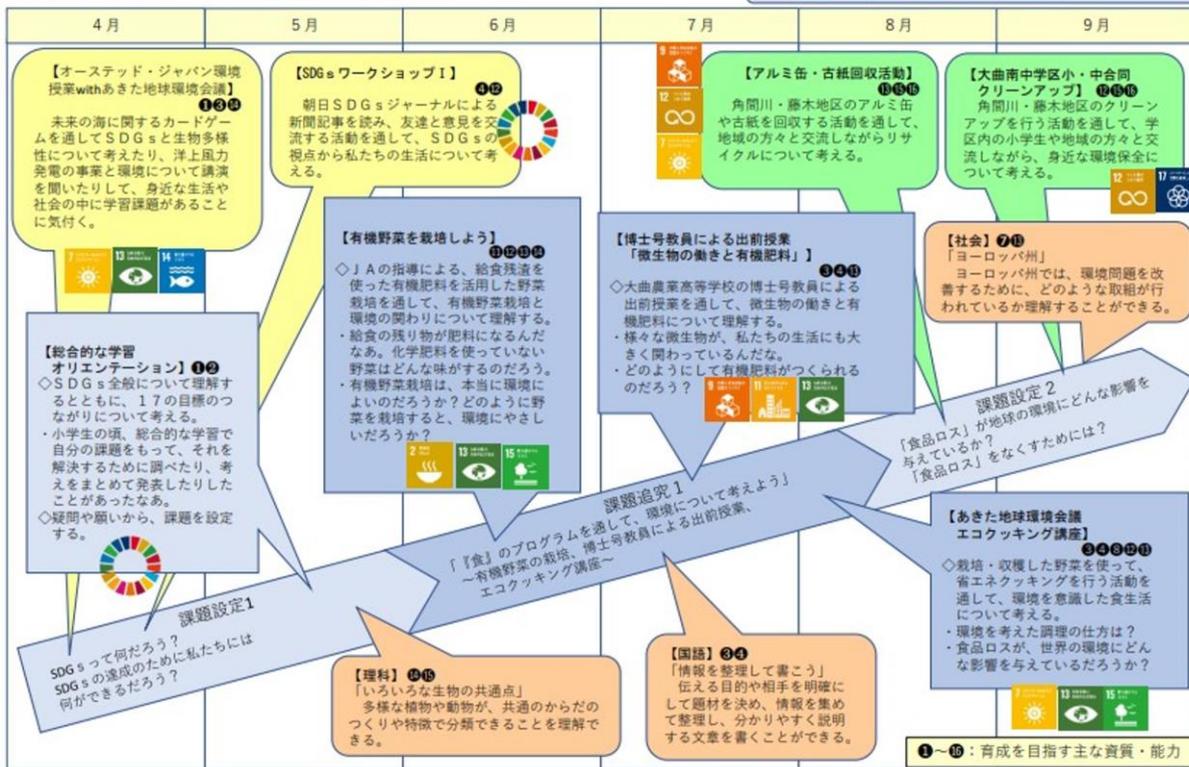
《**探究的・問題解決的な学習過程**》

3, 「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ「ESD for SDGs」

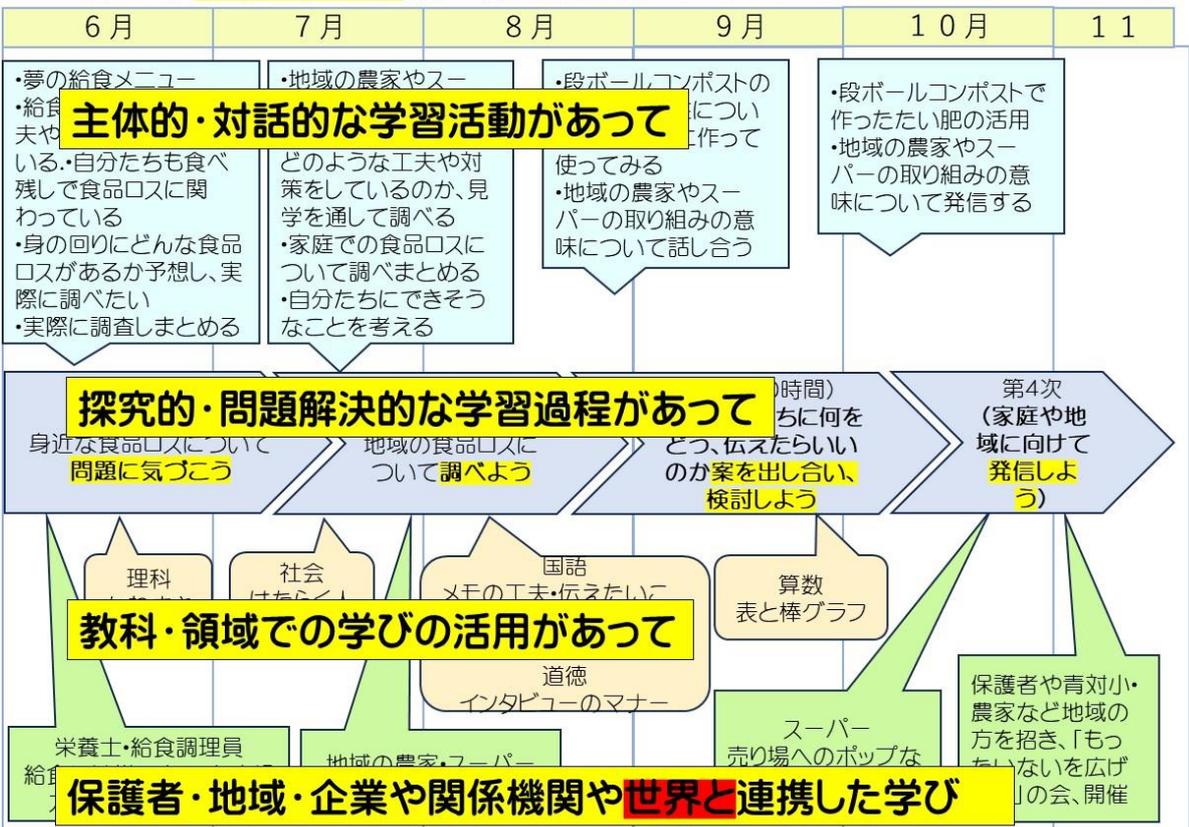
ストーリーマップ 秋田県大仙市立大曲南中学校

第1学年ESDストーリーマップ「食と環境」(1)

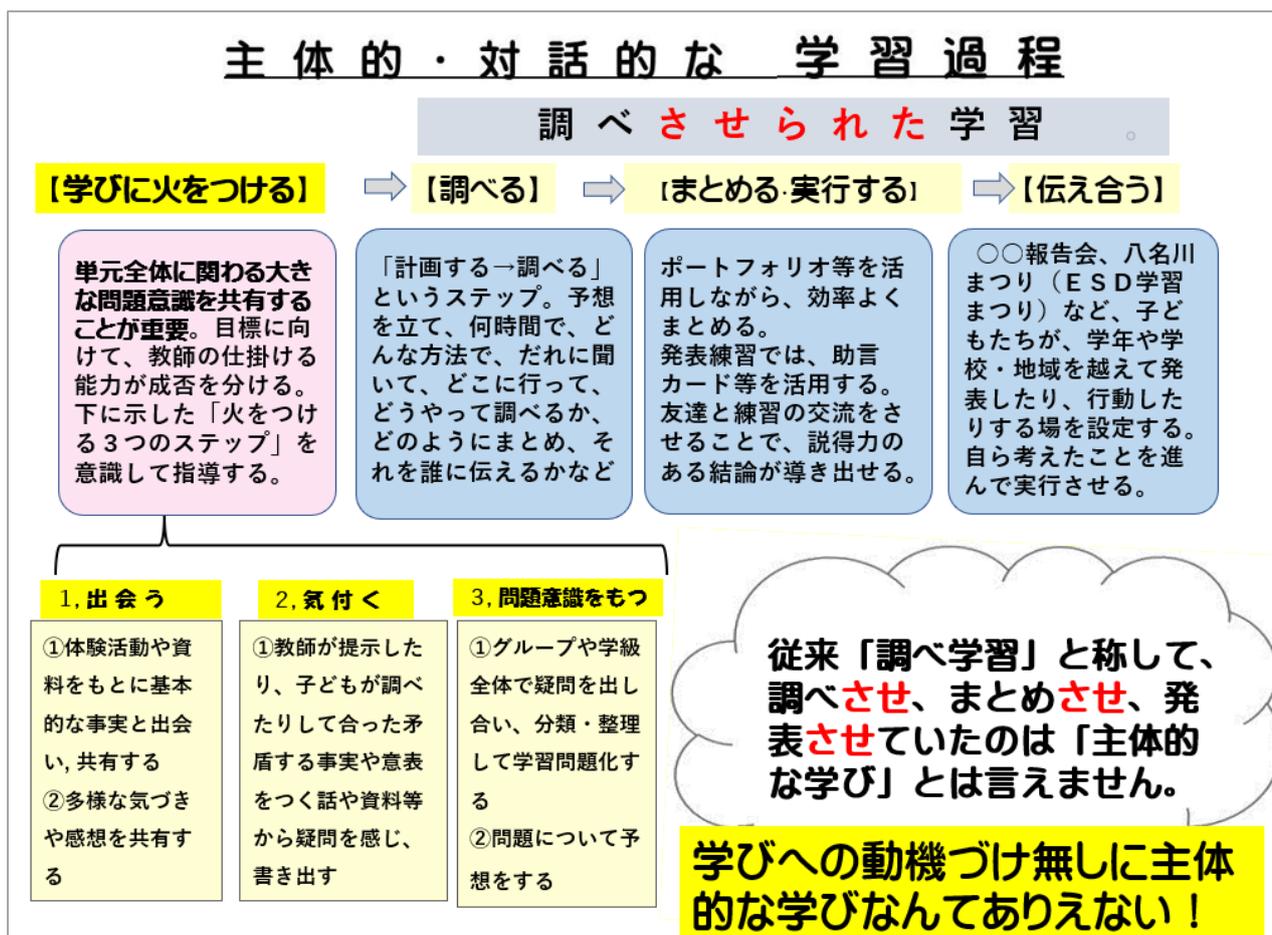
<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・



2024年度 3年 ESDストーリーマップ「食品ロスって何だろう」 小平市立第五小学校 2024年11月15日研究発表



4, 主体的対話的で深い学びの実現



5, 授業の「改善」ではなく「改革」を進める

⑤授業の「改善」ではなく「改革」を進める

大仙市立大曲南中学校の研究発表をごらんいただき、「まだ不十分だな」と感じていただけの所があったとしたら、先生方の中に「改革の方向性が見えてきた」ということだと思えます。ご一緒に学びの改革を進めましょう。大事なことは、大曲南中学校がどんな実践をして、どんな子どもさんを育てているかだけではありません。皆さんの市の学校で、教室で「持続可能な社会の創り手」の育成が進み、より良い未来が実現し続ける事です。

「授業改善」では届きません。「学びの改革」を進めましょう。

校舎平面図

